「言語文化」 指導と評価の年間計画

学校（学科）名　　勝山高校（普通科）

実施時期	単元名	単元の目標	指導事項（学習指導要領「言語文化」の内容）																		単元全体で取り上げる言語活動	単元の評価規準および評価方法			使用教材	備考（他教科との関係、学校図書館の活用、ICTの活用等）
			【知識及び技能】										【思考力、判断力、表現力等】									知識・技能（評価方法）	思考・判断・表現（評価方法）	主体的に学習に取り組む態度（評価方法）		
			(1) 言語の特徴や使い方に関する事項					(2) 我が国の言語文化に関する事項						A 書くこと		書くことの授業時数	B 読むこと					読むことの授業時数				
			ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ		ア	イ	ウ	エ	オ					
4月上旬	説話を読んで内容・構成・展開を捉える	【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	○							○							○					5	登場人物の行動や心情を説明する。	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ]（記述の点検＜ノート＞）	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。[B(1)ア]（記述の点検）＜ノート＞	積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。（記述の確認＜振り返りシート＞）	説話/児のそら寝（宇治拾遺物語）	タブレット端末（発表シート作成）
4月下旬	随筆を読んで内容・構成・展開を捉える	【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。								○							○					4	作品の内容をとらえ、構成を整理する。	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ]（記述の確認）＜ノート＞	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。[B(1)ア]（記述の点検）＜ノート＞	粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。（記述の確認＜振り返りシート＞）	随筆㈠/つれづれなるままに・神無月のころ（徒然草）	
5月上旬	漢文訓読の基礎と、日本における漢文由来の名付けについて理解する	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。		○				○												○		4	漢文に由来する学校名・会社名・人物名などを調べたうえで、グループでその内容をまとめて発表する。	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。[(2)ア]（記述の確認＜ノート＞）	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。[B(1)オ]（記述の確認）＜ワークシート＞	漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。（記述の分析）＜振り返りシート＞	万葉集、書経、史記、易経	タブレット端末（発表シート作成）
5月下旬	文章の構成や展開、表現の仕方を吟味し、文章を書く	【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思】自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。								○				○		4							古文の物語を現代語の物語に書き換える。	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ]（記述の確認）＜ノート＞	「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。[A(1)イ]（記述の分析）＜パフォーマンス課題＞	積極的に古文を自分に引きつけて想像を働かせ、学習課題に沿って現代語の物語に書き換えようとしている。（記述の確認＜振り返りシート＞）	歌物語/芥川/筒井筒/あづさ弓（伊勢物語）	
6月	日本近代小説の内容や表現を解釈する	【知】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。			○								○					○				9	作品の内容を踏まえて、主人公のその後を想像し、自分の考えを文章にまとめる。	文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。[(1)エ]（記述の確認）＜ノート＞	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。[B(1)イ]（記述の分析）＜ワークシート＞	積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。（記述の分析）＜振り返りシート＞	近代小説㈠/羅生門	
1学期																									
9月上旬	作り物語の面白さについて伝え合う	【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。								○	○								○			3	本文と関連する平安時代の風俗について調べる。	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ]（記述の確認＜ノート＞）	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。[B(1)エ]（記述の点検）＜ノート＞	平安時代の成人の儀式について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。（記述の確認＜振り返りシート＞）	物語/なよ竹のかぐや姫（竹取物語）	「歴史総合」との連携
9月下旬	表現と解釈の関係について伝え合う	【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。								○										○		3	句読点の付け方と解釈の可能性の関連について話し合う。	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ]（記述の点検＜ノート＞）	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。[B(1)オ]（記述の点検）＜ワークシート＞	句読点の違いによる解釈の差異について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。（記述の確認）＜振り返りシート＞	随筆㈡/春はあけぼの（枕草子）	タブレット端末（発表シート作成）
10月上旬	故事成語と自身の経験との結びつきについて自分の考えを発表する	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。							○											○		4	現代日本語における漢文由来の故事成語の用例を調べたうえで、グループでその内容をまとめて発表する。	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。[(2)ア]（記述の確認＜ノート＞）	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。[B(1)エ]（記述の確認）＜ワークシート＞	故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。（記述の確認＜振り返りシート＞）	故事成語/「戦国策」	タブレット端末（発表シート作成）
10月中旬	史伝の文章表現について自分の考えを文章にまとめる	【知】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。									○									○		3	文章中の表現について、春秋・戦国時代の歴史的背景を踏まえて説明する。	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。[(2)イ]（記述の確認＜ノート＞）	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。[B(1)エ]（記述の確認）＜ノート＞	進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。（記述の確認）＜振り返りシート＞	「史伝」（管鮑之交・先従隗始・鶏口牛後）	「歴史総合」との連携
10月下旬	本歌取りの和歌を創作し、評価し合う	【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思】自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。				○				○					○	4							教科書掲載の和歌を本歌とした短歌を創作する。	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ]（記述の点検＜ノート＞）	「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。[A(1)イ]（記述の分析）＜パフォーマンス課題＞	積極的に古典和歌と自分の体験とを結びつけ、学習課題に沿って本歌取りの短歌を創作しようとしている。（記述の確認）＜振り返りシート＞	和歌/万葉集/古今和歌集/新古今和歌集	
11月	作品を読み比べ、作品展開の効果について自分の考えを発表する	【知】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。			○												○					9	作品の展開を捉えて、その作品展開による効果について考える。	文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。[(1)エ]（記述の点検＜ノート＞）	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。[B(1)ア]（記述の確認）＜ノート＞	人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。（記述の確認）＜振り返りシート＞	近代小説㈢/山月記/人虎伝	タブレット端末（発表シート作成）
2学期																									
1月上旬	日記文学を読んで内容・構成・展開を捉える	【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。								○							○					4	本文と関連する古典常識について調べる。	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ]（記述の点検＜ノート＞）	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。[B(1)ア]（記述の確認）＜ノート＞	旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、学習課題に沿って理解を深めようとしている。（記述の確認＜振り返りシート＞）	日記文学/門出（土佐日記）	
1月下旬	筆記物語の表現の特色について自分の考えを文章にまとめる	【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思】文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。								○		○						○				4	文章中の表現の特色について分析する。	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ]（記述の点検）＜ノート＞	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。[B(1)ウ]（記述の確認）＜ワークシート＞	積極的に本文の表現について分析し、学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。（記述の確認）＜振り返りシート＞	筆記物語/祇園精舎（平家物語）	「歴史総合」との連携
2月上旬	日本文化と中国文化の類似点・相違点について漢詩を通して考える	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。									○									○		4	作品中の表現をもとに、日本文化と中国文化の類似点・相違点を考察する。	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。[(2)ア]（記述の確認＜ノート＞）	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。[B(1)エ]（記述の確認）＜ワークシート＞	由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。（記述の確認＜振り返りシート＞）	「漢詩」（中国の詩・日本の詩）	
2月下旬	表現と解釈の関係について自身の考えを深める	【知】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。									○									○		4	文章中の表現について、解釈上の諸説を調べてまとめる。	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。[(2)ア]（記述の確認）＜ノート＞	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。[B(1)エ]（記述の確認）＜ワークシート＞	教材本文の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。（記述の確認）＜ワークシート＞	「思想」（探究の扉漢文の注釈）	タブレット端末（発表シート作成）
3月上旬	短歌の鑑賞文を書いて評価し合う	【知】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思】自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。			○										○	2							印象に残った短歌の鑑賞文を二百字程度で書く。	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)ウ]（記述の確認）＜ノート＞	「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。[A(1)ア]（記述の分析）＜パフォーマンス課題＞	学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。（記述の分析）＜振り返りシート＞	詩歌/短歌	
3学期																									
各領域における授業時数の合計															10						60				